

第20回山崎七郎杯 8人制少年サッカー大会

兼 第21回岩内町長杯全道少年U-10サッカー南北海道大会 札幌地区予選 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーのレベルアップを図るとともに、全道少年（U-10）サッカー大会に札幌地区代表として出場するチームを決定する。
主催	（一社）札幌地区サッカー協会
主管	（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟
後援	札幌市、札幌市教育委員会、（一財）札幌市スポーツ協会、札幌市スポーツ少年団 札幌市サッカースポーツ少年団連盟後援会
運営	東区
期日	予選リーグ 2024年6月8日（土）6月15日（土）16日（日） 代表決定トーナメント 2024年6月22日（土）
参加資格	①（公財）日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する小学校4年生以下の選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②札幌地区予選から北海道大会に至るまで、同一選手が異なる加盟チームへ移籍後、再び参加することはできない。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険（第1種A）もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑥本大会は、少年団連盟複数チームエントリー規定に則り、同一加盟チームより複数チームエントリーが可能である。また、少年団連盟合同チームエントリー規定に則り、合同チームでの参加が可能である。
競技規則	（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	① 予選リーグ 各チームを44（各4～5チーム）のリーグに分け、総当たり戦を行う。各リーグの1位・2位が代表決定トーナメントに進出する。順位決定は、勝ち点（勝3 引分1 負け0）、得失点差、総得点、当該チームの攻撃結果、抽選の順とする。 ② 代表決定トーナメント 予選リーグを勝ち上がったチームで、トーナメント戦を行う。同点の場合は、PK方式（3名ずつ）により次回進出チームを決定する。代表決定戦においては、6分の延長戦（3分－3分）を行い、なお決しない時はPK方式（3名ずつ）により決定する。 ③ 競技のフィールド ピッチサイズは、60～68m×40mとする。 ④ 試合球 公認球4号ボールとする。 ⑤ 競技者の数および交代 試合は8人（うち1名はゴールキーパー）で行い、16名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 ⑥ 競技者の用具 競技者の用具は、実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。 ⑦ 審判員 主審、副審、予備審の4名で運営する。 ⑧ 試合時間 前後半とも12分間とし、ハーフタイムのインターバルは3分とする。 ⑨ その他 暑熱下において、前・後半中ほどに飲水タイムを採用する。
懲罰	① リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ② 大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③ 大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、（一社）札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④ 大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
その他	① 札幌市サッカースポーツ少年団連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ② 選手証（電子選手証もしくは印刷したもの）、大会エントリー表、メンバー表を持参すること。 ③ 札幌代表11チームは全道少年U-10サッカー大会（7月13日～15日・岩内）への出場を義務づける。 ※全道大会出場チームは3級以上の帯同審判を義務付ける。帯同審判員は、監督と兼務できない。帯同審判員がベンチ入りのコーチとなる場合、審判業務を優先するものとする。 ④ 大会の追加エントリー及び取り消しの締め切りは、抽選日10日前の17：00とする。 ⑤ 代表決定トーナメントにはマッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。また、その他に配置することがある。